

令和2年度決算に係る

定期監査資料

令和3年6月

産業人材育成センター米子校

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
(1)	指摘事項	
(2)	監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2
6	収入証紙取扱調べ	6
7	現金の取扱状況	6
(1)	現金取扱状況	
(2)	つり銭の状況	
8	財産に関する調べ	7
(1)	公有財産	
(2)	金券類の保有状況	
9	財産の貸付け及び使用許可調べ	9
(1)	土地及び建物	
(2)	物品	
10	借受不動産明細調べ	9
11	職員駐車場の管理状況調べ	10
(1)	管理状況	
(2)	減免の考え方	
(3)	使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	10
13	備品の処分状況調べ	11
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	11
(1)	亡失、損傷の報告状況	
(2)	物品確認の実施状況	
15	授業料徴収状況調べ	12
16	生徒の年度別応募者、入校者、修了者状況調べ（普通課程）	12
(1)	施設内訓練	
(2)	委託訓練	
17	令和2年度生徒入校状況調べ（普通課程）	13
(1)	施設内訓練	
(2)	委託訓練	
18	訓練修了者の就職状況調べ（普通課程）	13
(1)	施設内訓練	
(2)	委託訓練	
19	令和2年度訓練実施状況調べ（短期課程…離職者対象訓練）	14
(1)	施設内訓練	
(2)	委託訓練	
20	短期課程（障がい者対象訓練）状況調べ	14
(1)	施設内訓練	
(2)	委託訓練	
21	令和2年度訓練実施状況調べ（在職者対象訓練）	15
(1)	施設内訓練	
(2)	委託訓練	
○	意見、要望等	15

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和 3年 4月 1日現在)

区分	種別	事務職員			技術職員			現業職員			合計			備考
		当 年	該 度	2.4.1 現 在	当 年	該 度	2.4.1 現 在	当 年	該 度	2.4.1 現 在	当 年	該 度	2.4.1 現 在	
定員		3		4	5		5	0		0	8		9	
現員		(0)		(0)	(0)		(0)	(0)		(0)	(0)		(0)	
過不足 (△)		1		2	△ 1		△ 1	0		0	0		1	○事務職員 ・業務分担見直しによる転職 1 (H30) ○技術職員 ・退職による減 1 (H30)
臨時的 任用職員		0		0	0		0	0		0	0		0	
会計年度 任用職員		8		7	4		4	0		0	12		11	○事務職員 ・一般事務1 ・向上訓練等推進員2 ・委託訓練等推進員2 ・巡回就職支援指導員2 ・就職支援員1 ○技術職員 ・講師4

4 役付職員の調べ

(令和3年6月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
所長	草野 雅昭		2	産業人材育成センター倉吉校に常駐
校長	片寄 佳人	1	2	
副校長兼課長補佐 (普通訓練担当) (短期訓練担当)	丹田 昭浩	1	2	
課長補佐 (総務担当)	前田 世津子	2	2	出納員
課長補佐 (普通訓練担当)	末次 実雄	3	2	通算 27年2月

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	起債	その他
職業訓練事業	34,344	13,447	0	813
				一般財源 20,084

将来ビジョン

令和新时代創生戦略 3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ
(2) 働く場
②戦略的な産業人材の育成・確保

政策項目

(概要：普通課程)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

産業界の即戦力となる人材の育成を目的として、資格取得の促進、並びに訓練関連分野への就職支援を実施する。

(イ) 事業の実施状況

① 入校状況

(令和3年3月31日現在)

訓練科	訓練期間	定員/入校・進級者数	修了(進級)者数	就職者数	備考
自動車整備科(1年生)	2年	25/16	(14)	—	施設内
自動車整備科(2年生)		25/16	15	15	〃
設計・インテリア科	1年	20/10	8	8	〃
デザイン科	1年	20/19	14	6	〃
介護福祉士養成科(1年生)	2年	15/4	(4)	—	委託 (施設外)
介護福祉士養成科(2年生)		15/4	4	4	〃
計		120/69	41(18)	33	

※詳細は12ページを参照

(就職率 = 80.5%)

② 実施状況

年間1400時間の専門実技と専門学科を実施している。あわせてコミュニケーション研修を専門の講師を招いて複数回実施。また、各訓練科の最新情報を講師を招いて研修を実施し就職率と定着率が向上するよう支援を行った。

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴い施設内訓練が休校となったが、当初のカリキュラムを計画通りに実施するよう取り組んだ。
- ・高校への広報活動の強化としてオープンキャンパスの開催を7, 8月の2回から6, 7, 8月の3回に増やした。
- ・地元企業や関連業界と連携協力して実習を行うと共に広報活動も兼ねた訓練の実施した。

ウ 成果及び効果

- ・10日間の休校分のカリキュラムを夏休み期間の短縮や午後4時35分以降の訓練時間の延長等による計画的な補講により充足し、すべての科が当初計画の訓練(年間1,400時間)が実施できた。
- ・オープンキャンパス参加者が前年過去3年間の平均に比べ約33%増加した。

年度別オープンキャンパス参加者

	自動車整備	設計・インテリア	デザイン	合計	前年過去3年比
令和2年	32	6	7	45	133.7%
過去3年間平均	23.7	3.0	7.0	33.7	100.0%
令和元年度	18	2	10	30	89.1%
平成30年度	25	5	6	36	106.9%
平成29年度	28	2	5	35	104.0%

・企業や関連業界と連携した実習

【デザイン科】鳥取大学医学部と連携して医療従事者に感謝を表すTシャツを作成し、展示した後寄贈するイベントを実施し、訓練生に仕事に対する緊張感や達成感のある体験が出来たと共に広報活動の一環にもなった。

【自動車整備科】マイカー点検教室に参加し実際の自動車整備を体験した。また、日産自動車から最新の軽自動車2台を無償貸与いただき実習の教材として活用し、知識と技能の習得に役立てた。

【設計・インテリア科】Web開催された木造住宅推進協議会主催の「木の住まいフェア」に参加し、実習で作成した作品をWebで紹介した。

工 課 題

- ・定員充足率がやや改善したがまだ低い。
(高校や職安との連携、及び応募者獲得のための広報活動の強化の検討)
- ・有効求人倍率が増加しても訓練生の入校を確保できる付加価値のあるカリキュラムの策定。
(企業ニーズを調査し時代に即したものに改定)

(概要：短期課程(離職者対象訓練))

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

求職者及び求人ニーズに基づき、職業訓練の必要性が高い離職者を対象とした訓練を実施し、早期再就職をするための支援を行う。

(イ) 事業の実施状況

・離職者対象訓練

(令和3年3月31日現在)

訓練科	訓練期間	定員	応募者	入校者	修了者	就職者(%)	
31介護福祉士実務者研修科	6ヶ月	15	11	7	6	6	(100.0%)
31介護実習科②	3ヶ月	15	11	7	7	7	(100.0%)
31ITビジネス科②	4ヶ月	16	12	10	10	8	(80.0%)
ITビジネス&マーケティング科	3ヶ月	15	10	10	10	7	(70.0%)
Webデザイン科	5ヶ月	16	20	16	14	9	(64.3%)
介護実習科①	3ヶ月	15	10	7	7	7	(100.0%)
医療事務科+企業実習	4ヶ月	15	16	12	11	11	(100.0%)
財務会計科	5ヶ月	20	33	20	20	17	(85.0%)
ITビジネス科【短時間コース】	4ヶ月	15	16	14	14	12	(85.7%)
ITビジネス実務科	5ヶ月	16	13	10	8	1	(12.5%)
IT事務科	5ヶ月	18	18	14	13	3	(23.1%)
02介護福祉士実務者研修科	6ヶ月	15	15	12	—	—	(0.0%)
ビジネスパソコン科	3ヶ月	15	19	13	13	4	(0.0%)
商業簿記科	3ヶ月	15	12	10	10	4	(40.0%)
観光人材養成科	6ヶ月	20	9	/	/	/	/
02介護実習科②	3ヶ月	15	10	6	—	—	(0.0%)
02ITビジネス科	4ヶ月	16	19	13	—	—	(0.0%)
造園科	10ヶ月	10	5	5	5	2	(40.0%)
計		282	259	186	148	98	
訓練終了後3箇月経過後の訓練科 (ITビジネス科【短時間コース】まで)				(103)	(99)	(84)	(84.8%)

※「観光人材養成科」は、受講希望者が定数の半数以下のため、訓練中止

※「介護福祉士実務者研修科」、「介護実習科②」、「ITビジネス科②」は、令和3年度修了

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

・委託先及び訓練生に新型コロナウイルス感染防止対策の対応を周知徹底し、適切な環境での訓練実施に取り組んだ。

・訓練生の早期の就職に向け求人情報を迅速に提供した。

ウ 成果及び効果

・離職者訓練修了者の就職率(訓練終了後3箇月経過しているコースで84.8%)は求人数が減っている状況で昨年度を上回りました。(令和元年度83.5%)

エ 課題

・観光人材養成科は令和元年度から始めた訓練であるが、新型コロナウイルス感染防止の状況が続く状況であり今後の実施に向けて検討する必要がある。

(概要：短期課程(在職者訓練))

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

企業等で仕事をしている方を対象に、コンピュータ等の業務に必要な関連知識の習得を目指し、職場での実践的な活用に役立てる。

(イ) 事業の実施状況

(令和3年3月31日現在)

訓練科名	期間	実施定員	応募者	入校	修了
PCデザイン科(フォトショップ)	18時間	15	8	8	5
ビジネスキャリア科(労務管理)①	30時間	15	5	4	4
パソコン基礎科(Word&Excel)①	30時間	10	7	7	7
情報セキュリティ科	20時間	10	4	4	4
表計算科(実践)①	24時間	15	8	7	4
ビジネスキャリア科(労務管理)②	30時間	15	10	10	9
商業簿記科	40時間	15	12	12	10
ホームページ制作科	18時間	20	8	7	4
PCデザイン科(イラストレーター)	24時間	15	6	6	5
パソコン基礎科(Word&Excel)②	30時間	10	6	6	5
建築CAD科(JW_CAD)	30時間	15	10	8	7
表計算科(実践)②	24時間	15	14	13	7
プレゼンテーション科	18時間	15	10	9	7
オーダーメイド型					
職場リーダー人材育成研修(基礎)	12時間	10	8	8	8
職場リーダー人材育成研修(応用)	12時間	10	8	8	3
BIM活用力講習(REVIT初級編)	12時間	10	5	5	5
計		215	129	122	94

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

・ホームページ制作科以降、電子申請により受講申し込みを可能にし、受講希望者の利便性の向上を図った。(従来は、郵送、ファクシミリ、持参による申し込み)

ウ 成果及び効果

・受講申し込みの約4割が電子申請による申し込みであった。(申込:54名 うち電子申請21名)

エ 課題

・在職者訓練のニーズ(訓練内容、実施時期・時間等)を把握し、コース設定を検討する。
・受講者を増やすために、広報期間、配架場所の拡大する。

6 収入証紙取扱調べ

有 ・ 無

7 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

(令和3年5月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備 考
高等技術専門学校 授業料	167,400	4	普通課程授業料
職業訓練手数料	277,950	70	入校料、入校選考手数料、証明書発行手数料
延滞金	180	1	授業料延滞金
合 計	445,530	75	

(2) つり銭の状況

(令和3年5月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	10,000
--------	---	----------	--------

8 財産に関する調べ
 (1) 公有財産
 ア 土地

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)		価額 (円)
行政財産			14,148.89	不明						14,148.89	不明	
	(内訳)											
計			14,148.89	—						14,148.89	—	
普通財産												
	(内訳)											
計			—	—						—	—	
合計			14,148.89	—						14,148.89	—	

7

イ 建物
 (令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)		価額 (円)
行政財産			4,708.63	407,662,867						4,708.63	407,662,867	
	(内訳)											
計			4,708.63	407,662,867						4,708.63	407,662,867	
普通財産												
	(内訳)											
計			—	—						—	—	
合計			4,708.63	407,662,867						4,708.63	407,662,867	

ウ 山林

該当なし

エ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

該当なし

オ 物 権

該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

該当なし

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	電柱	米子市夜見町 3001-8	電柱1本	H31.4.1	H11.4.1	H31.4.1~ R6.3.31	月額・年額 1,500円	1,500	文書ID 18- 00320762
	電柱		共架柱3本	H31.4.1	H22.4.1		月額・年額 1,500円	4,500	
	電柱		電柱3本	H31.4.1	H11.4.1	H31.4.1~ R6.3.31	月額・年額 1,500円	4,500	文書ID 18- 00290365
	電柱		共架柱1本	H31.4.1	H22.4.1		月額・年額 1,500円	1,500	
	電柱		鋼管柱3本	H29.4.1	H14.4.25	H29.4.1~ R4.3.31	月額・年額 1,500円	4,500	文書ID 16- 00165304
	配管固定		配管固定 部品58か所	R2.4.1	H27.12.7	R2.4.1~ R3.3.31	月額・年額 1,988円	1,988	文書ID 19- 00315649
合計							18,488 18,488		

イ 建物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	自動販売機設置	米子市夜見町 3001-8	2.727㎡	H28.4.1	H23.4.1	H28.4.1~ R3.3.31	月額・年額 830円	29,880	文書ID 15- 00172051
	自動販売機設置		1.2825㎡	H28.4.1	H23.4.1	H28.4.1~ R3.3.31	月額・年額 830円	19,920	
合計								49,800 49,800	

(2) 物品

該当なし

10 借受不動産明細調べ

該当なし

1.1 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

(令和3年3月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	米子市夜見町3001-8	12.5	2,212
普通財産			

(2) 減免の考え方

該当なし

(3) 使用料の見直し

令和元年10月8日実施

1.2 寄附物件の受納状況調べ

(令和3年3月31日現在)

品名	規格、銘柄等	数量	見積金額 (円)	寄附申込 年月日	寄附申込者 氏名	受納 年月日	受納 手続 の有無	備考
ツールスタンド		5	95,700	11月14日	鳥取トヨペット株式会社 代表取締役 西村 公秀	11月17日	有	
エンジン	FB20A-GJBB	3	661,137	2月2日	株式会社SUBARU サービス企画部長 香取 啓司	2月16日	有	
エンジンスタンド		3	152,388	2月2日	株式会社SUBARU サービス企画部長 香取 啓司	2月16日	有	
ハイミッション ジャッキ	BANZAI HMJ- 450TMS	1	144,100	3月9日	株式会社アルコン 代表取締役 片岡 伊佐夫 株式会社山陰合同銀行 頭取 山崎 徹	3月12日	有	
合計		12	1,053,325					

1.3 備品の処分状況調べ

(令和3年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 定 年 月 日	処 分					備 考
			売却 棄 却 の 別	売却方法・ 棄却理由	処 分 年 月 日	売却額	処分費用	
ボーリングマシン	昭和37年2月26日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
シリンダーホー ニングマシン	昭和38年2月16日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
ピンホールホー ニングマシン	昭和39年11月25日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
直立ボール盤	昭和41年3月25日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
(ボーリングマ シン)	昭和46年3月30日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
ギ裂探傷機	昭和47年1月17日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
ブレーキドラム 施盤	昭和48年1月29日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
エンジンアナライ ザー	昭和55年10月8日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
エンジンアナライ ザー	昭和56年11月26日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
ホイールアライ メントシステム	昭和60年6月21日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し 更新のため	11月11日	-	0円	
教育教材エンジ ンユニット	昭和60年7月12日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
エレクトロニッ クインジェク ションシステム アナライザー (エンジ)	昭和63年7月7日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
軽四輪貨物自動 車	平成15年5月19日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
ヘッドライトテ スター	平成17年10月27日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し 更新のため	11月11日	-	0円	
液晶プロジェク ター	平成23年9月16日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し 更新のため	11月11日	-	0円	
手押鉋盤	昭和56年9月17日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
日立ホゾ取り	昭和61年7月24日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
(イクラパーペ ンダー) 鉄筋曲 げ機	平成4年6月18日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
ガス圧接機	平成4年9月25日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
鉄筋切断機 (イ クラ鉄筋カッ ター)	平成4年10月21日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
ワイヤレスマイ クシステム	平成8年2月13日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し 更新のため	11月11日	-	0円	
鉄筋切断機	平成8年8月28日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
オーバーヘッド プロジェクター	平成17年3月17日	10月31日	廃棄	今後使用見込み無し	11月11日	-	0円	
合 計								

1.4 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有 ・ 無

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無

1.5 授業料徴収状況調べ

(令和3年5月31日現在)

(単位:円)

調定月	調定額	納入期限内		納期限後の収入額 B	収入済合計 A+B	減免の状況		備考
		収入額 A	収入率 (%)			全免 (人)	半免 (人)	
4	2,845,800	1,869,300	65.6	892,800	2,762,100	5	10	
	△83,700						3	減免決定(半額減免)による減額3名
9	2,455,200	1,869,300	76.1	530,100	2,399,400	4	12	
10	△55,800							授業料納付期間中の退校による減額1名
合計	5,161,500	3,738,600	72.4	1,422,900	5,161,500			

1.6 生徒の年度別応募者、入校者、修了者状況調べ(普通課程)

(令和3年3月31日現在)

(1) 施設内訓練

(単位:人)

年度区分		定員	令和2年度			令和元年度			平成30年度			備考
訓練科名			応募者	入校者	修了者	応募者	入校者	修了者	応募者	入校者	修了者	
一年生	自動車整備科	25	23	16	14	20	18	16	28	25	24	修了は進級者
	設計・インテリア科	20	11	10	8	16	14	12	9	9	8	
	デザイン科	20	22	19	14	20	17	15	11	10	10	
	一年課程合計	65	56	45	36	56	49	43	48	44	42	
区分		定員		進級者	修了者		進級者	修了者		進級者	修了者	備考
二年生	自動車整備科	25		16	15		24	23		20	19	
	二年課程合計	25		16	15		24	23		20	19	
	一.二年課程合計	90	56	61	51	56	73	66	48	64	61	

(2) 委託訓練

(単位:人)

年度区分		定員	令和2年度			令和元年度			平成30年度			備考
訓練科名			応募者	入校者	修了者	応募者	入校者	修了者	応募者	入校者	修了者	
一年生	介護福祉士養成科	15	4	4		5	4		4	4	4	(委託)修了は進級者
	一年課程合計	15	4	4	0	5	4	0	4	4	4	
区分		定員		進級者	修了者		進級者	修了者		進級者	修了者	備考
二年生	介護福祉士養成科	15		4	4		4	4		5	5	
	二年課程合計	15		4	4		4	4		5	5	
	一.二年課程合計	30	4	8	4	5	8	4	4	9	9	

17 令和2年度生徒入校状況調べ（普通課程）

（令和3年3月31日現在）

（1）施設内訓練

（単位：人）

訓練科名	区分	定員	応募者	入校者 進級者	入校者の内訳		中 退 者	修 了 者	進 級 者	備 考
					高校新卒	その他				
一 年 生	自動車整備科	25	23	16	11	5	2	14		
	設計・インテリア科	20	11	10	4	6	2	8		
	デザイン科	20	22	19	8	11	5	14		
	一年課程合計	65	56	45	23	22	9	22	14	
二 年 生	自動車整備科	25		16	14	2	1	15		令和元年度入学
	二年課程合計	25		16	14	2	1	15		
一、二年課程合計		90	56	61	37	24	10	37	14	

（2）委託訓練

（単位：人）

訓練科名	区分	定員	応募者	入校者 進級者	入校者の内訳		中 退 者	修 了 者	進 級 者	備 考
					高校新卒	その他				
一 年 生	介護福祉士養成科	15	4	4		4	0	4		
	一年課程合計	15	4	4		4	0	4		
二 年 生	介護福祉士養成科	15		4		4	0	4		令和元年度入学
	二年課程合計	15		4		4	0	4		
一、二年課程合計		30	4	8		8	0	4		

18 訓練修了者の就職状況調べ（普通課程）

（令和3年3月31日現在）

（1）施設内訓練

（単位：人）

訓練科名	区分	修了者	就 職					未就職	備 考
			関連	非関連	自営	県内外の別			
						県内	県外		
自動車整備科	令和2年度	15	15	0	0	9	6	0	
	令和元年度	23	21	0	0	12	9	2	
	平成30年度	19	19	0	0	14	5	0	
設計・ インテリア科	令和2年度	8	8	0	0	8	0	2	
	令和元年度	12	10	1	0	10	1	1	
	平成30年度	8	7	1	0	8	0	0	
デザイン科	令和2年度	14	6	0	0	5	1	8	
	令和元年度	15	6	2	0	7	1	7	
	平成30年度	10	6	3	0	9	0	1	
合 計	令和2年度	37	29	0	0	22	7	10	
	令和元年度	50	37	3	0	29	11	10	
	平成30年度	37	32	4	0	31	5	1	

（2）委託訓練

（単位：人）

訓練科名	区分	修了者	就 職					未就職	備 考
			関連	非関連	自営	県内外の別			
						県内	県外		
介護福祉士 養成科	令和2年度	4	4	0	0	4	0	0	
	令和元年度	4	4	0	0	3	1	0	
	平成30年度	5	5	0	0	3	2	0	
合 計	令和2年度	4	4	0	0	4	0	0	
	令和元年度	4	4	0	0	3	1	0	
	平成30年度	5	5	0	0	3	2	0	

19 令和2年度訓練実施状況調べ(短期課程・・・離職者対象訓練)

(令和3年3月31日現在)

(1)施設内訓練

(単位:人)

訓練科名	区分	期 間	定員	応募者	入校者	修了者	就職者(%)		関連就職者(%)	
造 園 科		R2.4.8 ~R3.2.5	10	5	5	5	2	(40.0%)	2	(100.0%)
計			10	5	5	5	2	(40.0%)	2	(100.0%)

(2)委託訓練

訓練科名	区分	期 間	定員	応募者	入校者	修了者	就職者(%)		関連就職者(%)	
31介護福祉士実務者研修科		H30.12.4 ~R1.5.31	15	11	7	6	6	(100.0%)	6	(100.0%)
31介護実習科②		H31.2.1 ~H31.4.26	15	11	7	7	7	(100.0%)	6	(85.7%)
31ITビジネス科②		H31.3.1 ~H31.6.28	16	12	10	10	8	(80.0%)	6	(75.0%)
ITビジネス&マーケティング科		R2.4.16 ~R2.7.15	15	10	10	10	7	(70.0%)	6	(85.7%)
Webデザイン科		R2.6.5 ~R2.11.4	16	20	16	14	9	(64.3%)	6	(66.7%)
介護実習科①		R2.6.11 ~R2.9.10	15	10	7	7	7	(100.0%)	6	(85.7%)
医療事務科+企業実習		R2.6.16 ~R2.10.15	15	16	12	11	11	(100.0%)	9	(81.8%)
財務会計科		R2.7.7 ~R2.12.14	20	33	20	20	17	(85.0%)	16	(94.1%)
ITビジネス科【短時間コース】		R2.8.25 ~R2.12.24	15	16	14	14	12	(85.7%)	9	(75.0%)
ITビジネス実務科		R2.9.25 ~R3.2.24	16	13	10	8	1	(12.5%)	1	(100.0%)
IT事務科		R2.10.15 ~R3.3.12	18	18	14	13	3	(23.1%)	3	(100.0%)
介護福祉士実務者研修科		R2.10.29 ~R3.4.28	15	15	12	—	—	(0.0%)	—	(0.0%)
ビジネスパソコン科		R2.11.26 ~R3.2.25	15	19	13	13	4	(30.8%)	3	(75.0%)
商業簿記科		R2.12.11 ~R3.3.10	15	12	10	10	4	(40.0%)	4	(100.0%)
観光人材養成科		R3.1.29 ~R3.7.28	20	9	/	/	/	/	/	/
02介護実習科②		R3.2.19 ~R3.5.18	15	10	6	—	—	(0.0%)	—	(0.0%)
02ITビジネス科		R3.3.5 ~R3.7.2	16	19	13	—	—	(0.0%)	—	(0.0%)
計			272	254	181	143	96	(67.1%)	81	(84.4%)

(「観光人材養成科」は、受講希望者が半数以下のため訓練中止)

20 短期課程(障がい者対象訓練)状況調べ

(令和3年3月31日現在)

(1)施設内訓練 実施していない

(2)委託訓練 実施していない

(1)施設内

(単位:人)

区分 訓練科名	期間	訓練 時間	級別	定員	受講 者数	修了 者	備 考
PCデザイン科 (フォトショップ)	R2. 5/16. 23. 30	18h	-	15	8	5	3日間 土曜
ビジネスキャリア科 (労務管理) ①	R2. 5/23. 30. 6/6. 13. 20	30h	-	15	4	4	5日間 土曜
パソコン基礎科 (Word&Excel) ①	R2. 6/6. 13. 20. 7/4. 11	30h	初級	10	7	7	5日間 土曜
情報セキュリティ科	R2. 6/7. 14. 28. 7/5	20h	-	10	4	4	4日間 日曜
表計算科 (実践) ①	R2. 8/1. 9/5. 12. 26	24h	中級	15	7	4	4日間 土曜
ビジネスキャリア科 (労務管理) ②	R2. 9/1. 4. 8. 11. 15. 18 . 25. 10/2. 6. 9. 13. 16. 20. 23. 27	30h	-	15	10	9	15日間火・金曜
商業簿記科	R2. 9/6. 13. 10/4. 11. 1 8. 25. 11/1. 8	40h	-	15	12	10	8日間 日曜
ホームページ制作科	R2. 9/6. 13. 27	18h	-	20	7	4	3日間 日曜
PCデザイン科 (イラストレーター)	R2. 10/31. 11/7. 14. 28	24h	-	15	6	5	4日間 土曜
パソコン基礎科 (Word&Excel) ②	R2. 11/1. 8. 29. 12/6. 1 3	30h	初級	10	6	5	5日間 日曜
建築CAD科 (JW_CAD)	R2. 11/8. 15. 29. 12/13 . 20	30h	-	15	8	7	5日間 日曜
表計算科 (実践) ②	R3. 1/17. 24. 2/7. 14	24h	中級	15	13	7	4日間 日曜
プレゼンテーション科	R3. 2/28. 3/7. 14	18h	-	15	9	7	3日間 日曜
職場リーダー人材育成研修 (基礎)	R2. 9/3. 17. 10/1. 15	12h	-	10	8	8	4日間 木曜
職場リーダー人材育成研修 (応用)	R3. 1/14. 28. 2/4. 18	12h	-	10	8	3	4日間 木曜
BIM活用力講習 (REVIT初級編)	R3. 2/28. 3/14	12h	-	10	5	5	2日間 日曜
計				215	122	94	

(2)委託訓練 実施していない

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等
特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

米子校と倉吉校に分けて2回実施している事務監査を、産業人材育成センターとして実施してほしい。